

14人強制送還

上陸容疑など

上陸の波紋

混迷する東アジア

上

「遺憾の意」 首相が親書

日本政府は17日、竹島問題をめぐり国際司法裁判所(IJCJ)への共同提訴を韓国側に提案することを決めた。だが韓国外交通商省は報道官の論評で「一顧の価値もない」と反発した。

「(裁判に)堂々と応じてほしいです」。野田佳彦首相は17日夕、官邸で記者団に語った。さらに同夜、首相は李大統領の一連の言動に対して「遺憾の意」を示し、IJCJへの共同提訴を韓国に提案するとした大統領宛ての親書を出した。

「未来志向の関係構築」

東アジア外交の「負の連鎖」が止まらない。韓国の李明博大統領の竹島上陸を機に日韓関係は大きくしみ、尖閣諸島をめぐる日の対立も先鋭化する。東アジア重視を掲げ、2009年に誕生した民主党政権。高まるナショナリズムを背景に、日本と周辺国との関係は混迷を深めている。

▼2面=韓国へ対抗策次々、31面=香港着の活動家

竹島・尖閣きしむ関係

を目指してきた日韓両国だが、首相の外交ブレーン、

長島昭久首相補佐官は「民

主党政権ですつと積み上げ

てきたが、一連の(大統領)行動でこれまでのような日韓関係が続くとは考えられない」。双方の対立感情は、膨らむばかりだ。一方の対中関係。尖閣諸島に上陸した香港の活動家を強制送還した17日、首相は尖閣関係閣僚会議を初めて開催。「我が国の領海に侵入し、魚釣島に上陸したことは誠に遺憾だ」と強調した。官邸を訪れた議員には「国家主権に関わる問題はまさに不退転の決意、体を張って取り組んでいきたい」と決意を語った。

日中韓対立の悪循環

2012年(平成24年)
8月18日
土曜日

天気 6 9 12 15 18 21時

| | |
|------|----|
| 東京 | 30 |
| 横浜 | 26 |
| 千葉 | 29 |
| さいたま | 25 |
| 札幌 | 27 |
| 仙台 | 19 |
| 名古屋 | 24 |
| 大阪 | 32 |
| 福岡 | 26 |



朝日新聞東京本社

〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com